

松川 浩明 様

請願者代表

池住義憲

住所

日南市志摩郡竹山149-569

紹介議員

水野磯子
名古屋市天龍区荒池1-1920

わしの恵子 下栗奈歩

日本軍「慰安婦」問題の解決をすすめるために、
愛知県議会が国に対し解決をするための意見書を提出するよう求める請願

戦時日本軍「慰安婦」問題について政府が「河野官房長官談話」(1993年8月)を発表してから四半世紀が経ちます。しかし問題は今なお解決していません。政府は2015年に韓国政府とともに「日韓合意」を公表。しかし、実際には問題は解決していません。被害女性の多くは無念の思いを抱いたまま他界され、名乗り出た女性たちも高齢となり「このままでは死にきれない」と悲嘆に暮れています。

「慰安婦」問題は戦時に日本軍の管理下、日本軍兵士によって行われた女性に対する人権侵害事件です。被害女性は韓国だけでなく、日本、中国、フィリピン、インドネシアなどアジア諸国やヨーロッパ諸国にまたがっており、政府間の外交交渉だけでは解決しません。真の解決のためには、日本政府が加害の真相を究明し、事実を認め、①被害女性たちに誠意ある態度で謝罪し、賠償を行なうこと。②歴史を隠さず事実を明らかにし、次世代に継承すること、これが不可欠です。貴議会として「問題解決に力を注ぐよう求める意見書」を政府に提出するよう請願いたします。

首相や政府高官がこの問題は外交交渉ですべて解決したと公言し、被害女性に手紙を書く気もサラサラないとか、少女像を撤去せよ、教科書から「慰安婦」問題を削除せよ一などと言っている限り「問題」はさらにこじれて行きます。人権問題の解決にはすでに国際的な基準(被害者中心アプローチ)が確立されており、被害者抜きの交渉でなく、被害者への誠意ある対応を打ち出すことが望まれます。

〈請願項目〉

- 一 真の解決のためには、日本政府が加害の真相を究明し、事実を認め、被害女性たちの声を聞き誠意ある態度で謝罪し、賠償を行なうこと。
- 一 教科書などに「慰安婦」問題を記述し、事実を明らかにし、次世代に継承すること。

氏名	住所	募金
山本三子	名古屋市津島区日輪1-2-102-524	
今西佳子	名古屋市名東区香南1-101A-2102号	
真野悦子	名古屋市守山区金屋2~92	
佐藤千代香	名古屋市守山区白台2-1401	
可知知子	名古屋市名東区藤里1201 7-507	

愛知・日本軍「慰安婦」問題解決をすすめる会

〒461-0004 名古屋市東区葵1-22-26 民主会館内 (090-7033-3824)

〈共同代表〉池住義憲 石川勇吉 大脇雅子 加藤剛 小出隆司 西本伸 長峯信彦 長谷川一裕
原山恵子 平山良平 古木民夫 水野磯子 安川寿之輔 山田清文 吉田豊